

あなたとぎかい



CONTENTS

今月の特集

『子育てお母さん to 市議会
～子育て世代の本音に迫る～』
..... P2～P3

こんなことが決まりました／
お金の使い道を審査しました／採決結果
..... P4～P8

ココがききたいQ&A..... P9～P17

活動レポート..... P18～P19

シリーズ『匠』／各種案内... P20

お話を伺った栗源児童クラブ保護者の皆さん
(左から齋藤優美子さん(岩部)、鶴ノ澤麻美さん
(岩部)、大塚美由紀さん(岩部)、島田佳代さん
(高萩)、平野恵子さん(岩部))

栗源児童クラブ 保護者と懇談会

子育てお母さん to 市議会

平成30年4月に栗源小学校敷地内に移設した栗源児童クラブ。真新しい建物からは、小学1年から6年までの子どもたちの元気な声が響いています。保護者の働き方の多様化に伴い、放課後の子どもたちが安全で健やかに過ごせる場として、放課後児童クラブの果たす役割は重要です。

今回は、子育て世代であり、共働き等で子どもたちを放課後児童クラブに預けている保護者たちから、市議会や市政に対する率直なご意見・ご要望をお伺いするため、栗源児童クラブ保護者の皆さんと懇談会を開催しました。

子育て世代の
本音に迫る

子どもが0歳の時、保育所に入れませんでした

0歳から2歳までは、先生1人の預かる園児数が少ないため、特に入れないんです。勤める会社により、育児休暇を1年取ることが難しいため、受け入れの枠を広げてほしいです。／他の市と比べたら、保育士の数が格段に少ないと感じます。／一番そばにいてあげたい0歳の時でも保育所に預けざるを得ない親が多いのは、まだまだ育児休暇を取りにくい環境だからです。取りやすい環境整備も必要と感じます。

とにかく
不便でしょうがない！

買い物できる場所が少ない。近くに駅もない。どこに行くにも遠く感じます。／他の市と比べるとアパート代が高い。これでは安くて便利な近隣の市に住んでしまおうと思います。／農業体験やアウトドアが楽しめたりと田舎のいいところがいっぱい。でも、いまいち生かし切れていない気がします。／市内にも公園はありますが、整備されている市外に行ってしまうことが多いです。

香取市では
子どもを産めないの？

香取市には産婦人科がないんです。これから子どもを産みたいのに、どこに行けばいいのでしょうか。／私たち、成田市で産みました！／助産院でも近くにあれば利用したいです。

救急で診てくれる
病院あるのかな。不安……

以前は市外の大きな病院の近くに住んでいたのですが、子どもの急な発熱時でも安心でしたが、今は不安です。／栗源地区にも病院はありますが、小児科などではなく、お年寄り向けのような気がします。小児科がある病院でも毎日はやっていないなど、子どもを診てくれる病院が少ないです。／救急車を呼んでも、なかなか受け入れ先が見つからず、これでは救急車の意味がありません。／子育てをするのに田舎は防犯面で安心と思っていました。／香取市健康相談ダイヤル24を利用しましたが「様子を見てください」の言葉で終わり。寄り添った言葉がないと

安心できません。

縦割り行政ってダメよね！

相談しても担当部署が違うなどで聞いてもらえない。柔軟に現場の声を聞いてほしいです。／栗源児童クラブでも「周囲に照明や街灯がないため暗い」「外構に段差が多く雨の日は滑りやすい」「駐車場出入り口階段が危険」など、日々の生活で直面する細かい要望はありますが、伝える機会がありません。

議員へ要望を伝える
手段がわからない

議員に相談したくても方法がわからないので、身近に感じないです。／市議会だよりがコンビニなどに置いてあるのは知っていますが、手に取るまではいきません。／こういった懇談会の機会を作ってほしいです。定期的に開催されていれば参加もしやすくなると思います。

市議会では、この声を具体的に生かす市政への反映を目指し、引き続き活動していきます。



平成30年12月に完成予定の上川岸小公園

上川岸小公園オープンに伴う施設管理方法等を定める条例制定

Q 工事が遅れている上川岸小公園のオープン時期は。休憩所棟の使用対象者、使用時間、使用方法は。

A 平成30年12月の完成を目指し工事を進め、31年1月から3月をプレオープン、4月から本格的にオープンしたいと考えています。休憩所はどなたでも使用可能で、使用時間は午前10時から午後8時までです。使用方法は、観光振興や地域住民の交流の場となるよう、具体的な運用を検討します。

○議案第8号
香取市上川岸小公園の設置及び管理に関する条例の制定について

PICKUP ③
上川岸小公園
平成30年12月完成
生活経済建設

9月こんなことが決まりました！

平成30年9月定例会を8月28日から9月21日までの25日間にわたり開催しました。9月10日から12日までの3日間、決算審査特別委員会を開催し、皆さんが納めた税金がどのように使われたかを審査しました。9月13日には、総務企画常任委員会、福祉教育常任委員会、14日には生活経済建設常任委員会を開催し、平成30年度補正予算、条例の制定、工事請負契約の変更など、付託された議案等を審議しました。

■審議された議案等

計	33	件
市長提出議案	12	件
議員発議案	1	件
決算認定	11	件
諮問	5	件
継続審査陳情	4	件
※その他報告	4	件

○議案第1号
平成30年度香取市一般会計補正予算（第3号）

PICKUP ①
ごみ焼却炉を
多額の費用で
再び修繕

伊地山クリーンセンター焼却炉の修繕に2億8823万2千円を計上

Q ごみ処理施設運営費負担金の内容は。数年前に、多額の費用をかけて補修したが、また補修をする理由は。

A 香取広域市町村圏事務組合への負担金として支出しますが、伊地山クリーンセンターの炉の修繕費と炉の停止期間におけるごみ処理の外部委託費です。今回の焼却炉耐火物の破損については、ごみ質が変化し、焼却ごみの高力口リ－化が原因です。



伊地山クリーンセンター焼却炉

○議案第3号
平成30年度香取市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

PICKUP ②
基金活用で
保険料の急激な
上昇を抑制

介護保険給付準備基金積立金に1億8453万3千円を追加

Q 介護保険給付準備基金の状況と基金残高をどのように保険料に反映させていくのか。

A 介護保険給付準備基金は、平成30年度分の積み立てを加算すると約8億円程度となります。今期3年の保険料は、基金から1億円を繰り入れることで、月額5600円かかるところ5500円に抑えられました。2025年には、保険料月額が7千円を超えることが見込まれますので、保険料の急激な上昇を抑えるため、引き続き、基金を活用していきたいと考えます。

平成29年度決算をチェック お金の使い道を審査しました

市長は、監査委員がチェックした前年度決算について、議会の審査を受け、期日までに議会の認定を受けなければなりません。審査の結果、全ての決算が認定されました。



決算の内訳

■一般会計決算額

歳入 375億 307万円 歳出 354億4,288万円

■特別会計決算額

歳入 224億7,230万円 歳出 214億 318万円

国民健康保険事業	歳入	123億6,456万円	歳出	116億5,847万円
介護保険事業	歳入	69億1,794万円	歳出	65億9,108万円
農業集落排水事業	歳入	1億9,343万円	歳出	1億9,254万円
観光事業	歳入	1億 807万円	歳出	1億 807万円
下水道事業	歳入	17億1,832万円	歳出	17億 354万円
土地取得事業	歳入	4,234万円	歳出	4,234万円
後期高齢者医療事業	歳入	8億4,504万円	歳出	8億4,340万円
太陽光発電事業	歳入	2億8,260万円	歳出	2億6,375万円

■企業会計決算額

歳入 28億9,443万円 歳出 35億2,714万円

水道事業	収益的収入	19億4,688万円	収益的支出	16億 575万円
	資本的収入	7億5,747万円	資本的支出	16億9,752万円
簡易水道事業	収益的収入	1億3,913万円	収益的支出	1億1,534万円
	資本的収入	5,095万円	資本的支出	1億 853万円

決算審査 PICK UP ②

補正までした(仮称)佐原認定こども園の 整備事業費はなぜ繰り越されたのか



市内こども園第1号のおみがわこども園

Q 幼保一元化施設整備事業に関し、繰越額の内容は。

A 用地取得費と登記委託料を合わせた1億8097万7千円が繰越額です。これは、用地交渉が年度内に終了できなかったためです。

Q 用地取得費等は、補正で予算化されたもので、年度内に執行すべき。

A 平成30年度中に執行できるよう、現在、最大限努力しています。

決算審査 PICK UP ③

一定の効果があつたプレミアム商品券 発行事業をなぜ中止したのか



平成29年度まで発行していたプレミアム商品券(見本)

Q プレミアム商品券発行事業に関し、事業の成果と平成30年度中止の理由は。

A 事業は平成21年度から9年間実施し、総額34億9千万円を発行し、換金額は約34億8千万円です。市民への消費喚起と加盟店の売り上げ向上に一定の効果があつたと考えます。しかし、プレミアム商品券は、ある程度の発行部数を確保する必要がある予算規模が大きいこと、また、これまで長期間実施してきたことから、執行団体と協議し、新たな視点で商業の活性化を推進するため、本事業は実施しないことになりました。

決算審査 PICK UP ④

「佐原の大祭」ユネスコ無形文化遺産 登録記念事業費の内訳は

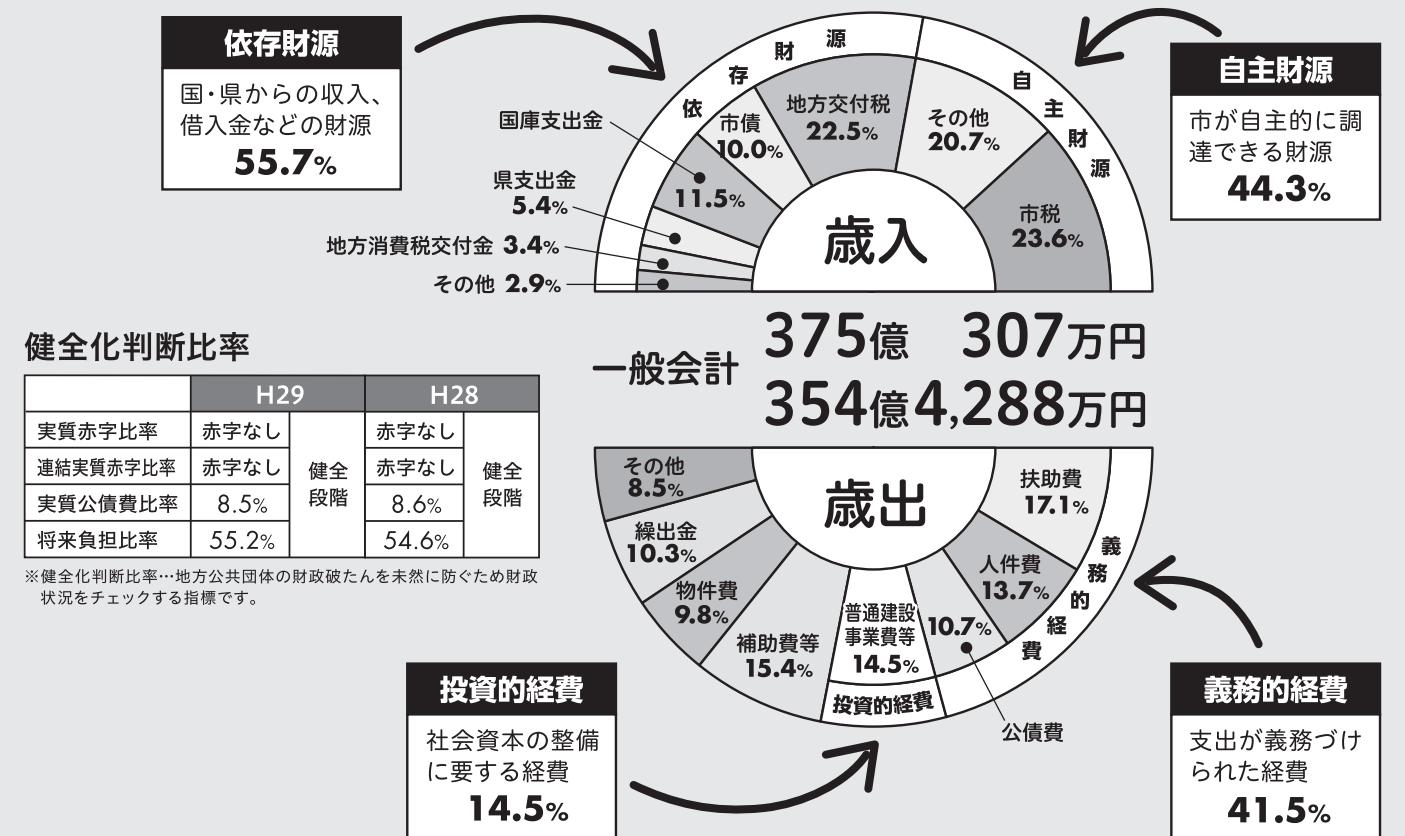


ユネスコ無形文化遺産登録記念事業での山車行事

Q ユネスコ無形文化遺産登録記念事業に関し、事業費の内訳は。

A 市の一般会計と佐原の大祭実行委員会から支出されています。佐原の大祭実行委員会が実質的な事業の実施主体となり、その歳入は、協賛金、県補助金、機敷席収入等で、2503万6千円。歳出は、機敷席の設置を含む会場設営費、警備費等で、1853万6千円。歳入から歳出を差し引いた金額650万円が余剰金となり、精算金として市の会計に戻しました。

市税増も地方交付税減額 引き続き財政規律を注視



決算審査 PICK UP ①

一般会計歳入歳出決算 実質収支額は 16億1,336万8,089円の黒字

Q 実質収支は黒字、単年度収支は赤字であり、実質単年度収支も赤字となっている。この原因をどのように捉えたらよいのか。

A 予算に対して次年度への繰り越し分を含めた収入額は、平成28年度が、マイナス5億9400万円、29年度は、2億5300万円の増でした。執行残は、平成28年度が約27億円、29年度は約13億6千万円でした。この歳入と歳出の状況から単年度収支が4億9200万円の減となりました。実質単年度収支のマイナス20億5千万円は、29年度に公共施設整備基金を創設し積み立てたことで財源不足となり、財政調整基金から約25億3200万円を繰り入れたため、このやりくりが大きい要因と考えられます。

討論
総所得が増え税収の伸びがあつたというが、実感がかめない。逆に国による社会保障制度の度重なる改悪が、市民の懐あるいは年金事情を直撃しているというのが実感であり、不十分といわざるを得ないため、反対の立場を表明する。

高木寛 議員 **P12**

◆園児・児童・生徒の熱中症対策は
◆主要地方道旭小見川線山田地区小見・竹之内・
田部地先の歩道整備は

坂本洋子 議員 **P11**

◆県立佐原病院の存続と充実を願って
◆全国の近隣自治体で広がる学校給食の無償化を
◆ごみ処理行政
◆災害情報の確実な伝達手段は

奥村雅昭 議員 **P10**

◆防災
◆PCB（ポリ塩化ビフェニル）の処分状況は
◆スポーツ選手への支援対策は

9月定例会では、9月5日・6日の2日間、次の内容で一般質問を行いました。

8人の議員が一般質問

久保木宗一 議員 **P13**

◆学童保育所の設置
◆行政組織改革
◆水害対策は
◆高速バスの活用
◆景観形成地区の拡大
◆こども園

田代一男 議員 **P14**

◆生涯スポーツ
◆子育て支援
◆食品ロス問題

宇井正一 議員 **P15**

◆再生土処分場に関する問題
◆県道28号旭小見川線の府馬地区における
道路整備は
◆免税軽油の農業における活用の推進を

河野節子 議員 **P16**

◆地域包括支援システムのビジョンと
市民への周知は
◆香取市市民事業仕分け

小野勝正 議員 **P17**

◆スマート自治体への転換
◆マイナンバーの課題
◆佐原中心市街地の整備計画



一般質問とは

○本会議で議員が行う市政全般に関する質問です。
香取市のさまざまな課題等について、市の考えを
聞き、説明等を求めるものです。
○質問時間は、議員1人当たり答弁を含めて60分配
分されています。

次ページから、一般質問の内容を
抜粋・要約して掲載しています。
紙面の都合により掲載できなかった質問は、市議会ホームページ「録
画映像」でご覧いただけます。

議員別の採決結果一覧

○:賛成 ×:反対

※議長（伊能敏雄議員）は、採決に加わりません。議案番号右の（ ）は、審査を
付託した委員会名です。採決で賛否が分かれた議案のみ掲載しています。

議案名等▼	審議結果	久保木清司	小野勝正	平野和伯	奥村雅昭	田代一男	鈴木聖二	高木典六	高木寛	久保木宗一	林信行	田山一夫	高岡正剛	眞本丈夫	伊能敏雄	坂部勝義	坂本洋子	林幸安	河野節子	平松大建明	根本太左衛門	宇井正一	木内誠
認定第1号(決算審査) 平成29年度香取市一般会計 歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	×	○	○	○	○	×	○
認定第2号(決算審査) 平成29年度香取市国民健康 保険事業特別会計歳入歳出 決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	×	○	○	○	○	×	○
認定第3号(決算審査) 平成29年度香取市介護保険 事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	×	○	○	○	○	×	○

全会一致の議案等審査結果

議案等の詳細はホームページをご覧ください。
※議案名等は要約して掲載しています。

議案第1号～7号	平成30年度 補正予算(一般・特別・企業会計)	可決
議案第8号	条例制定(上川岸小公園設置及び管理)	可決
議案第9号	工事請負契約の変更(小見川中学校校舎大規模改修工事)	可決
議案第10号	財産の取得(山田小学校スクールバス購入)	可決
議案第11号	専決処分(平成30年度 一般会計補正予算)	承認
議案第12号	訴えの提起	可決
認定第4号～第11号	平成29年度 決算(特別・企業会計)	認定
諮問第1号～第5号	人権擁護委員の候補者推薦への意見(鈴木美恵子氏/八木秀子氏/山村貞子氏/日下部康一氏/畔柳智彰氏)	委任者と決定
継続審査陳情第15号	香取市における、受動喫煙防止対策に関する陳情	採択
継続審査陳情第16号	受動喫煙防止対策についての陳情	採択
継続審査陳情第17号	住民の健康増進と2020東京オリンピック・パラリンピックにむけて受動喫煙防止条例の早期制定を求める陳情	採択
継続審査陳情第18号	「千葉県受動喫煙防止条例の早期制定を求める意見書」の提出に関する陳情	採択
発議案第1号	千葉県受動喫煙防止条例の早期制定を求める意見書	可決

意見書を提出しました

9月定例会において、発議案第1号 「千葉県受動喫煙防止条例の早期制定を求める意見書」を可決

受動喫煙の問題は、「タバコを吸わない人が健康障害を被る」ことから、早急な防止策が求められています。
こうした中、2003年に施行された「健康増進法」(法25条－受動喫煙の防止－)を改正し、受動喫煙防止の強
化を図るための厚生労働省案が、2018年の通常国会で成立しました。

県内の飲食店等のサービス産業で働く労働者や利用者、また、自ら受動喫煙から身を守る事のできない子ど
もたちの健康を守るために、千葉県受動喫煙防止条例の制定が強く望まれます。

陳情第18号の採択を踏まえ、千葉県受動喫煙防止条例の早期制定を求め、県へ意見書を提出しました。

オリンピックを目指す 青少年に助成金を

Q 優秀、将来性のあるスポーツ選手への支援策は。

A オリンピック・パラリンピックを目指すスポーツ選手に対して、香取市東京オリンピックジュニア特別強化指定選手補助金制度で、トップアスリートの育成を支援しています。対象は、千葉県競技力向上推進本部が指定する強化選手で、選手個人に対して大会、合宿、競技用具の整備など、対象経費の2分の1以内、20万円を上限に助成します。

Q 香取市出身で市外に住所のある選手は対象になるのか。

A 本市出身で、千葉県競技力向上推進本部の特別強化指定選手に指定された場合は補助の対象です。

Q 県内はもとより、全国で活躍している香取市出身の選手を紹介できないか。

A 香取市教育委員会表彰制度に基づき表彰し、広報紙等で掲載・紹介しています。市外に住所がある本市出身の優秀選手



おくむら まさあき
奥村 雅昭 議員

手についても、さらに情報を収集し、積極的に紹介していきます。

スクールのバスを 有効利用を考えよ

Q 小・中学校の部活動で児童・生徒が大会等へ出場する際、公用車等を利用することは可能か。

A 大会への出場を目的とした市民バス等の提供は行っていない。小・中学校の教育活動として、学校が大会等に選手を派遣する場合は、対象経費の2分の1以内で、助成金を交付する制度があります。

Q 小・中学校の部活動やサッカー、野球のリトルリーグ、リトルシニア等のクラブチームが各種大会に出場する際、スクールバスを利用できないか。

A スクールバスは、文部科学省の規定で、登下校以外の使用は学校の教育活動に限られています。スクールバスの利用時間



さかもと ようこ
坂本 洋子 議員

神崎町が実施しています。市の調査では、平成30年4月以降、芝山町、多古町、東庄町が新たに実施しています。

Q 義務教育無償の原則の一環として学校給食の無償化の考えは。

A 無償化には年間2億7千万円の新たな支出が見込まれます。財源の確保が大変難しい現状のため、国の支援策などの動向を注視するとともに、現在行っている就学援助制度の普及により、経済的に援助が必要な人を積極的に支援していきます。

地域医療連携会議の 在り方と方向性は

Q 香取海浜地域を中心とする自治体の長や病院長による地域医療連携会議の在り方と県立佐原病院の関わりは。

A 地域医療連携会議は、市の呼びかけによる任意の会議という位置付けです。香取地域の中核病院である県立佐原病院は、

以外にも多くの時間を学校の教育活動に使用しているため、余裕がないのが現状です。

Q 現在12台のスクールバスが運行中で、今後、さらに山田地区小学校統合により、13台購入する。台数の大幅な増加が見込まれていることをどう考えているか。

A 香取市地域公共交通検討委員会で、スクールバスの活用も含め、公共交通の在り方を検討しています。



佐原中学校では3台のスクールバスが運行されている

他の病院と同様に医師不足により、急性期医療や救急医療体制の確保が課題のため、周辺医療機関との連携強化が必要とのことでした。

Q 連携会議の今後の方向性は。また、国の進める地域医療連携推進法人との関係は。

A 9病院で部会を設置し、検討結果を地域医療連携会議で協議することになりました。国が示している地域医療連携推進法人とは直接関係はありません。

Q ごみ減量に欠かせない資源化率向上の推進状況と今後の施策は。ごみ袋代引き下げの方向性は。

A 平成29年4月から、プラスチック製容器包装の分別収集を開始し、平成30年4月からは回収回数も隔週から毎週に増やしたことで、資源化率も少しずつ向上しています。今後市民の皆さんの排出抑制と分別徹底などの協力をいただきながら、ごみ袋値下げに向けて取り組んでいきます。

Q 防災行政用無線の戸別受信機を必要の人には無料で貸与すべき。

A 戸別受信機は、ほとんどが個人負担での購入であるため、公平性の観点から無料貸与は難しいと考えます。



美味しい給食は子どもたちの元気の源（八都小学校）

Q 全国や県で急速に広がる学校給食の無償化は少子化対策として有効な施策と思うが、実施している近隣自治体は。

A 平成29年度文部科学省の調査では、全国の4.7%の自治体が小・中学校両方、または小学校のみ、中学校のみで実施しています。同調査で県内では、大多喜町と

近隣自治体で進む 「給食費無償化」の実現を

園児・児童・生徒の 熱中症対策について

Q 近年、全国的に猛暑が続く中、児童・生徒の保護者から、熱中症への心配の声が寄せられている。市内の保育所、幼稚園、小・中学校におけるエアコンの設置状況は。

A 幼稚園、小・中学校、認定こども園や保育所の普通教室のエアコン設置率は100%です。幼稚園や認定こども園、保育所は、普通教室以外の部屋の90%以上に設置されていますが、小・中学校の特別教室の設置率は、小学校27%、中学校28%です。

Q 市内各中学校の夏休み中の部活動はどのように行われ、また、教育委員会として熱中症対策をどのように指導しているのか。

A 校長が認めた練習計画に従い、練習時間は午前または、午後のいずれかとしています。練習前に必ず顧問による健康観察を行い、計画的な水分補給や休憩を必ず取り入れています。環境省が示す暑さ指数を確認し、練習実施の有無を適切に判断することを指導しています。



たかぎ ひろし
高木 寛 議員

Q 市内各学校の運動会・体育祭の開催時期は。9月開催の場合は熱中症が懸念されるが、その対策は。

A 21校のうち、4校が5月、17校が9月開催です。練習前の健康観察、計画的な水分補給、休憩に加え、演技種目の選定や



エアコンの設置で授業にも集中（新島小学校）

津宮・香取・大倉小学校へ 放課後児童クラブ設置を

Q 共働き家庭やひとり親家庭への支援策の必要性を十分認識し、アンケート調査を実施後、学童（放課後児童クラブ）を検討することだったが、結果は。

A 放課後児童クラブの利用希望は、回答いただいた140世帯中、ほぼ毎日



くぼき そういち
久保木 宗一 議員

利用したいが14世帯、長期休業時のみ利用したいが39世帯、利用希望はないが66世帯でした。この地域に限らず未整備地域の的確な利用希望者の把握に努め、今後の整備方針を決定していきます。

大倉排水機場は 市が責任を持つべき

Q 大倉排水機場は、津宮・大倉地区の水害対策に重要な役割があるが老朽化し危険な状態である。現在は農林水産省の補助事業で改修するしかないが、補助金は、国50%、県35%、地元負担15%である。県内で地元負担を全額地元市町村が支出している実例は。

A 県内では、湛水防除事業として、成田市と白子町が実施しています。この地区は、流域面積が広範囲で、不特定地区からの流入や、公共性があること、排水機場の管理予定者が市町であることから地元負担分は、全額を市町が、もしくは受益面積割で各

必要に応じた練習時間の短縮など、各学校の実態に即した対応を指導しています。

主要地方道旭小見川線の 歩道整備について

Q この道路の山田地区小見・竹之内・田部地先の歩道整備の現状は。

A 道路管理者である県香取土木事務所に確認したところ、主要地方道旭小見川線の佐原山田線交差点から、市道I-54号線の府馬地先交差点部までの2.6kmのうち、歩道整備済み延長が片側のみも含めて、約1.4kmです。残りの延長約1.2kmが未整備区間で、歩道整備率は約54%です。

Q この歩道整備は何度も要望してきた。今後の整備予定は。

A 県香取土木事務所に伺ったところ、現在、整備予定は無いとのことでした。また、県道の歩道整備は、県全体から見た交通量、必要性を勘案し、順次整備しているところで、小学校の通学路かつ市町村の通学路交通安全プログラムの指定箇所で、地元の協力が得られる箇所を優先して整備しているとの回答がありました。

市町が負担しています。また、基幹水利施設ストックマネジメント事業として、柏市と我孫子市、匝瑳市、横芝光町が実施しています。これらの地区は、過去に湛水防除事業により実施していたため、同じように地元負担分は、全額を市町が、もしくは受益面積割で各市町が負担しています。

高速バスに定期券は必要 今回のバスターミナルの 整備内容は

Q 通勤通学時間等の短縮の必要性から高速バスの利用者が増加している。その第一希望が定期券の導入である。バスターミナルの整備、便数の増加と併せて検討することだが、設計補正予算の金額と内容は。

A 設計の補正予算額は、バスターミナル実施設計委託費等で総額5275万6千円です。JR佐原駅南口と北口を結ぶ跨線人道橋の西側にバスターミナルを整備予定で、面積は、3600㎡です。屋根付きバス乗降場2カ所、バス待機場2台分、屋根付きタクシー乗り場1カ所を計画しています。

佐原地区にグラウンド ゴルフの練習場を

Q 高齢者がスポーツに親しみ推進する意義をどう捉えているか。

A 高齢者が体力、目的に応じてスポーツに親しむことは、明るく元気に生き生きとした生活を送る上で、極めて大きな意義を持っているものと捉えています。

Q 佐原地区のグラウンドゴルフの練習場が無いと相談があったが、統廃合された小・中学校の跡地を活用できないか。

A 旧佐原第二中学校と旧湖東小学校の運動場を利用し、グラウンドゴルフを行っている団体があります。今後、廃校となる小・中学校についても、周辺住民の意向を伺いながら、有効活用を検討していきます。

子育て中の保護者ニーズに あった公園遊具を

Q 公園に遊具を設置する意義について、どのように捉えているのか。

香取市独自の 再生土規制条例の制定を

Q 10月県議会へ提案される県再生土条例は、「届け出制ではなく許可制にすること」「住民同意を義務付けること」などの要望が反映されていない。住民の懸念が払拭されない内容だが、見解は。

A 市条例を改正した平成30年5月1日以降、規定する3千㎡未満の埋め立て申請はありません。現在、適用外の3千㎡以上の埋め立て箇所は5カ所で、問題が発生しないよう、県との連携を踏まえ定期的な監視または指導等を行っています。県条例案は、次の県議会へ上程するとの新聞報道がありました。規制の詳細、内容が明らかになった段階で、他市町の対応も含めて総合的に検討し判断していきます。

Q 大角の市道破損補修工事の進捗状況は。費用負担について、道路破損原因者、再生土処分業者との話し合いの交渉経過は。

A 特に道路状況の悪い箇所、約900㎡の工事を平成29年度に市が行いました。平成30年度発注済みの工事は、約35



破損が著しい大角の市道

0㎡分で9月中の完成予定です。残り約600㎡も、平成30年度中の工事実施を考えています。現在も業者との協議は、継続しており、理解を得るのは大変困難な状況ですが、引き続き粘り強く交渉していきます。



う い しょういち
宇井 正一 議員



た しろ かずお
田代 一男 議員

A 子どもたちに健全な遊び場を与え、健康増進や情操を豊かにするために大変有意義なものであると考えます。

Q 老朽化した遊具の更新および撤去された遊具の新たな設置の見解は。

A 地域の子どもたちの数や利用頻度、地元の要望等を考慮し、計画的に遊具の設置や修繕を実施していきます。



放置された老朽化著しい遊具

食品ロスをはじめ ごみ減量の啓発を

Q 食品ロス削減を推進する意義について、どのように捉えているか。

A 可燃ごみ減量目標を達成するためにも重要な取り組みですので、積極的な啓発に努めます。

Q 宴会の食べ残しを減らすための取り組みである「3010運動※」を広めることが食品ロス削減に有効だと考えるが、見解は。

A 食品ロスの削減、ごみの発生抑制に有効な運動の一つと認識しています。さらに、「3010運動」の市民への周知、浸透を図っていくため、広報紙や食品衛生組合などを通じて広め、ごみの減量化や食品ロスの削減に向け、市民と連携しながら取り組んでいきます。

※3010(さんまるいちまる)運動
食品ロス削減のため、宴会時は、初め30分と終わり10分は食事を楽しみましょうという運動。



府馬県道沿線住民の 騒音・振動対策を

Q 県道28号旭小見川線、府馬入小保内地域の沿線住民は、早朝を中心に、ダンプなどの重量車輛の通行で、騒音・振動に毎日悩まされている。県に対して対策の要望を。

A 県香取土木事務所に確認したところ、舗装の現況調査を行ったと聞いています。この区間は、施工条件が厳しい箇所であることから、修繕工事を行うには関係機関と十分に調整の上、工事による通行の安全が確保できるような方法を検討するとの回答でした。市では、地元区長と相談しながら、対応を検討していきます。

農家の免税軽油利用のための 申請の簡素化を

Q 農家に有利な免税軽油の制度の申請手続き簡素化を県へ働きかけをべき。

A 免税軽油の利用は小規模農家の場合、各種報告等が必要な割には免税金額が少ないことから、市内では利用者が少ない状況です。このため、関係部署や機関と連携し、免税軽油の制度の周知を図っていきます。

高齢者が住み慣れた街で 自分らしく生活できる体制を

地域包括ケアシステムの 体制づくりを

Q 体制づくりに向けた市のビジョンは庁内の関係課で共有されているか。

A 介護予防、生活支援関連業務の庁内情報交換会で、関係各課に説明し、情報を共有しています。

Q 市民主体となる地域全体の仕組みづくりの市民への周知は。

A 広報紙をはじめ、介護予防講座や認知症予防講座等で周知しています。今後も市民が参加するイベント、会議等で、幅広い世代に対し周知していきます。

Q 日常生活圏の設定が広すぎる。地域包括支援センターも市内2カ所では身近に相談できない。増設や増員は。

A 日常生活圏域は、近隣の市の状況と違いはなく、地域包括支援センターも2カ所で不足はないと考えていますが、人員



この せつこ
河野 節子 議員

の数では、不足していると考えます。今後、対応件数の増加が見込まれますので、体制整備を推進し、適正な人員配置に努めます。

Q 高齢者は交通手段が課題。デマンドタクシーの増便や利用の多い時間帯に増便を。

A 現状の輸送能力に問題はないと考えています。しかし、さまざまな意見があることから、現状を精査し、利用者に喜ばれる乗り合いタクシーを目指します。

Q ボランティアや健康づくりにポイント制を導入し、市民の意識向上と支え合う仕組みづくりを。ソフト事業に予算付けを。

A 導入の可能性について、研究していきます。

※地域包括ケアシステム

介護が必要になっても住み慣れた地域で自分らしい生活が続けられるよう支援する体制



この かつまさ
小野 勝正 議員

A 業務でのAI技術の導入は検討していません。AI技術等は、技術革新や費用対効果などを考慮し、調査研究を進める必要があると考えます。

マイナンバーで業務の 利便性が向上したのか

Q マイナンバー制度の運用で自治体業務がどのように効率化されているのか。

A 前住所地の所得情報等は、自治体間の情報連携で、オンラインでの照会が可能になり、業務効率が向上しています。また、平成29年12月からは、マイナンバーカードを利用して、各コンビニエンスストアで住民票や印鑑証明、各種税証明を取得できるサービスを開始しています。これにより、交付機会の拡大や職員の事務時間の縮減につながっています。

Q マイナンバーの安全管理には、さまざまな指摘があった。個人情報を一元管

事業仕分けで無駄削減と 職員の問題意識向上を

Q 36事業の選定は、誰がどのような基準で選ぶのか。一事業の仕分けが55分では無理がないか。

A 選定は、総合計画に位置付けられた実施計画事業の推進にあたり、市民の意見を反映させたい事業や課題解決のために意見を伺いたい事業などを選定して、最終的に庁議に諮り決定します。全国的に行われている事業仕分けの実施時間は1時間程度と聞いています。限られた時間の中で、論点のずれや議論不足にならないよう、実績のある「構想日本」に委託して実施します。



事業仕分けに向けた職員研修

理することへの懸念は。

A 現在運用中のシステムでは、個人情報をも1カ所で集中管理せず、それぞれの機関で分散管理しています。

Q 佐原中心市街地の複合公共施設の活用コンセプトは。また、事業費とその財源の内訳・進捗状況は。

A コンセプトは、市民と観光客双方にとって利便性の高い施設とすることです。また、中心市街地の活性化を図るものです。また、基本設計での建設事業費は約44億8千万円で、財源は、国の社会資本整備総合交付金約15億4千万円、合併特例債約27億9300万円の活用を見込んでいます。合併特例債は7割の交付税措置があるため、補助金等の総額は、約35億円です。市の負担は、約9億9千万円で、平成33年度から平成34年度頃の完成を見込んでいます。



複合公共施設外観イメージ



市議会議員の活動レポート

香取郡市町議会 議員研修大会



8月24日、東庄町公民館で香取郡市町議会議長会主催の議員研修会が開催され、伊能敏雄議長ほか議員が参加しました。

当日は、持続可能な地域社会総合研究所長の藤山浩氏による「地元を創り直す時代～持続可能な地域社会に向けて」の講演がありました。「少子高齢化で地域の活力が低下する中、まず地域に住んでいる人たちが地域の良さを再認識することが大切」などのアドバイスがあり、市民協働のまちづくり分野で、人材確保の課題などを確認することができた研修でした。

◀持続可能な地域社会の創出を学ぶ

北総地区市議会正副議長会 議員研修会

10月10日、千葉県北総地区市議会正副議長会主催の議員研修会が成田市内で開催され、伊能敏雄議長ほか、議員が参加しました。

研修会では、地域活性化・まちづくりコンサルタントの水津陽子氏による「地方創生戦略に求められる視点とその進め方」をテーマとした講演が行われ、地域資源を活かした地域ブランドづくりの可能性や重要性、今後の観光振興について学ぶことができました。

▼地域資源を発掘することの大切さを学ぶ



全国市町村交流レガッタ大津大会



9月15日から16日まで、「第27回全国市町村交流レガッタ大津大会」が滋賀県大津市の県立琵琶湖漕艇場で開催されました。議員シニアの部へ参加した「香取市議会Sui Sui Go!」のクルーは、新調したユニフォームを身にまとい、日頃の練習の成果を十分に発揮しましたが、惜しくも予選敗退となりました。

本市からは熟年男子の部、壮年女子の部へそれぞれ参加し、壮年女子の部へ出場した「SMART COOL 美'Z」が、見事優勝を果たしました。参加クルーたちは、雄大な琵琶湖畔で水上スポーツによる交流を深めました。

◀議員クルーが全国市町村交流レガッタで熱戦

総務企画常任委員会 行政視察

6月26日から28日まで、北海道江別市、栗山町、千歳市の行政視察を行いました。

江別市では、行政評価について、外部評価の成果と課題の説明を受け、栗山町では、デマンドバスの運行事業について、現状と今後の課題の説明を受けました。

また、千歳市では、千歳市防災学習交流センター「そなえ〜」を視察し、震度7の地震体験や煙避難体験など、さまざまな災害学習を通して、自主防災組織の必要性や学ぶことの重要性を確認しました。

◀地震体験もできる千歳市防災学習交流センター「そなえ〜」



福祉教育常任委員会 行政視察

7月17日から19日まで、全国1位の学力と評される秋田県の中でも、トップレベルの横手市と東成瀬村の教育委員会の行政視察を行いました。

横手市では、「学校図書館を有効活用した言語活動の充実」や「小学校外国語活動のためのALT充実」などの実践を通じ、学び合いの環境づくりを実現しました。

東成瀬村では、子どもが少ないことを逆手に取り、小・中連携型の指導方法を追求し、「探求型」を確立。意見を述べ、聞く力が身に付くとの成果が出ており、市が取り組むべき教育活動の大きな参考となりました。



▲子どもたちが自ら切り開く「探求型」授業を推進している東成瀬小学校

生活経済建設常任委員会 行政視察



▲Mallmall（まるまる）は年間来場者数100万人を超える見通し

8月2日から4日まで、宮崎県都城市、西都市の行政視察を行いました。

都城市の中核施設「Mallmall（まるまる）」では、都城大丸デパート跡地に開館。民間活力を導入し、図書館や子育て世代活動支援センターを含む複合施設として建設。図書館にはカフェを併設し、県産木材を活用した書架スペースを設けるなど先進的な施設となっています。

西都市の商店街空き店舗活用事業は、商店街組織がある区域に開業費や家賃の補助金を交付するもので、助成内容が充実しています。市でもニーズを的確に把握し、効果的な制度創設の必要性を感じました。



こだわりの逸品を生み出す香取の匠たちをご紹介します



選ばれる 国産コショウランを 育てたい

(有)香取洋らん園
鏑木 義博さん(桐谷)



大学卒業後、会社員生活を2年送り、洋ラン栽培の道へ進みました。もともと家が30年程前から続く洋ラン農家でしたので、いつかは後を継ぎたいと考えていました。現在はコショウランとカトレアの切り花栽培がメインで、東京をはじめ全国の市場へ卸しています。最近、葬儀場での需要が多いですね。鉢物は近辺の花屋や個人にも販売しています。その際、「花持ちがよかったよ」などと声をかけられると嬉しいですね。

年々出荷数は増えていますが、輸入物の流通が増

えているのも事実で、値段ではかないません。私たちがができることは、値段に代えられない「コショウランは国産物」と選んでもらえる、そんな花を育てることだと考えます。飾ったときをイメージし、一番美しく見える長さ、花付きにこだわって育てていきたいですね。

ランは花を咲かせるのに6ヵ月を要します。時期により出荷が途切れることがないよう、安定した供給で香取市産の大輪のランを今後も届けていきたいです。

12月

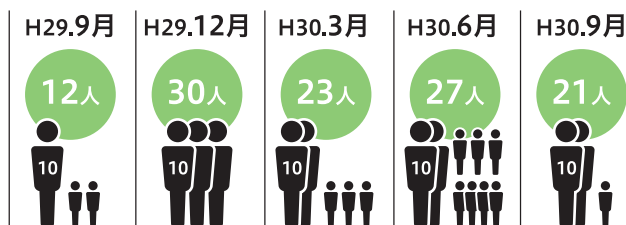
市議会を見学しませんか？

定例会 の日程

10/23日(火)	本会議
25日(木)	
11/1日(木)	本会議
6日(火)	常任委員会
7日(水)	
12日(月)	本会議

※12月定例会は10月23日(火)から開会しています。
※請願・陳情の12月定例会での受け付けは、締め切っています。

傍聴に訪れた人数(H29.9月~H30.9月)



9月定例会の傍聴者数は延べ21人でした。

編集後記

紙面の刷新後は、特集記事等で幅広い世代の市民から貴重なご意見を伺うことができました。今後、これまで以上にさまざまな特集記事を企画しながら、より身近な市議会であるための情報交換となるよう努力し、これからも多くの皆さんに手に取っていただける紙面づくりを心掛けていきます。

議会広報特別委員(林)

市議会をより詳しく知りたいときは

ご利用ください！

市議会会議録と議会中継

議会だよりは、要約表記で掲載しているため、詳しくは市議会ホームページや会議録をご覧ください。



香取市議会
ホームページ
<http://www.city.katori.lg.jp/>



議会中継

定例会・臨時会のライブ中継は、市議会ホームページおよび市役所で視聴できます。(録画映像は、おおむね1週間後から視聴可能です。平成31年1月からはスマホでも視聴できます。)



会議録

会議録は、市議会ホームページ「会議録検索」から閲覧できます。9月定例会の会議録がご覧いただけるのは11月中旬になります。

製本された会議録はこちらで閲覧できます

○市役所 1階 情報コーナー/6階 議会事務局
○佐原中央図書館 ○小見川図書館

議会だよりは、議会と市民を結ぶ懸け橋です。多くの市民の声を聞き、その声を皆に届けるべく「高校生と市議会」に続き、今号では「子育て世代と市議会」を特集しました。今後もご意見・ご要望を直接伺い、一方的なお知らせ広報ではない、広聴面を充実させた議会だよりをお届けします。

議会広報特別委員(高木)